



平成22年4月19日

各 位

ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社  
代表取締役社長 青木毅  
(コード番号:3390)  
問合せ先 取締役管理本部長 村上孝徳  
電話番号 03-6858-0411

**(訂正)「平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)」  
の一部訂正に関するお知らせ**

当社は、平成22年3月26日付「過去の業績に影響を与える事象の発生及び社内調査委員会の設置に関するお知らせ」を公表いたしましたとおり、その具体的な訂正内容が確定いたしましたので別添のとおり訂正いたします。

なお、訂正箇所につきましては、訂正前と訂正後をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正を行う平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)について  
決算期:平成20年3月期 第3四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)  
公表日:平成20年2月14日

以 上

(訂正前)

## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (非連結)

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	1,658	<u>△14.7</u>	△457	—	△462	—	△467	—
19年3月期第3四半期	<u>1,943</u>	<u>△22.7</u>	<u>△218</u>	<u>—</u>	<u>△227</u>	<u>—</u>	<u>△135</u>	<u>—</u>
19年3月期	<u>2,512</u>	—	<u>△316</u>	—	<u>△327</u>	—	<u>△363</u>	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	△7,966	08	—	—
19年3月期第3四半期	<u>△2,312</u>	<u>51</u>	—	—
19年3月期	<u>△6,186</u>	<u>93</u>	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	1,760		818		46.5	13,938	90	
19年3月期第3四半期	2,257		1,514		67.1	25,779	38	
19年3月期	1,989		1,286		64.7	21,904	97	

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	△78		△143		△6		409	
19年3月期第3四半期	130		△220		△84		718	
19年3月期	138		△267		△125		638	

(略)

(訂正後)

## 平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (非連結)

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	1,658	<u>△23.4</u>	△457	—	△462	—	△467	—
19年3月期第3四半期	<u>2,165</u>	<u>△13.9</u>	<u>3</u>	<u>△93.1</u>	<u>△6</u>	—	<u>△1</u>	—
19年3月期	<u>2,733</u>	—	<u>△94</u>	—	<u>△106</u>	—	<u>△228</u>	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	△7,966	08	—	—
19年3月期第3四半期	<u>△17</u>	<u>34</u>	—	—
19年3月期	<u>△3,891</u>	<u>75</u>	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第3四半期	1,760	818	46.5	13,938	90
19年3月期第3四半期	2,257	1,514	67.1	25,779	38
19年3月期	1,989	1,286	64.7	21,904	97

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	△78	△143	△6	409
19年3月期第3四半期	130	△220	△84	718
19年3月期	138	△267	△125	638

(略)

(訂正前)

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計年度におけるわが国経済は金利上昇不安や原油価格・素材価格の高騰といった懸念材料はあったものの、企業部門の底堅さが持続し活発な設備投資や雇用・所得環境の改善による個人消費も上向きつつあるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし「改正建築基準法」施行の影響により住宅建設が減少していること等から、回復の足取りはさらに緩やかになりました。物価の動向をみると、消費者物価指数は、石油製品等の上昇により上昇すると見込まれました。こうした結果、内閣府の経済見通し（平成20年1月18日付け）によると平成19年度の国内総生産の実質成長率は1.3%程度（名目成長率は0.8%程度）になるとの見込みです。

一方、サブプライムローン問題を背景とする米国経済の下振れや金融資本市場の変動、原油価格の高騰等がわが国経済に与える影響は大なるものでありました。

このような状況下、当事業年度中間期までのマイナス基調から脱却すべく主力のソリューションアウトソーシング事業の新規顧客獲得、新事業分野である介護ソリューション事業の拡大、セキュリティ関連事業の基盤構築、既存のeコマース事業の新商材・新サービスの投入による売上拡大に努力してまいりました。その結果、第1四半期、第2四半期、第3四半期と売上は伸張してまいりましたが、その増加は微増にとどまり昨年度の実績に及びませんでした。

基幹事業のソリューションアウトソーシング事業においては、日本IBMとのタイアップのもと新世代POS「APOS」を発表するなど、新施策による顧客開拓に尽力して参りましたが、売上獲得は計画通りに進捗いたしませんでした。

新規事業分野である介護ソリューション事業は業界でも類を見ない新たなソリューションを提供しておりますが、販売体制の構築が遅れており当初予想の売上を達成するにいたりませんでした。しかしながら着実に業界の理解を獲得しており、その顧客数は急速に増加しております。

また、セキュリティ関連事業に関しましては、セグメント別ニーズの発掘活動を通じて当社セキュリティソリューションの有効活用につながる複数の案件が発生しておりますが、現時点では大きく売上に貢献する水準には至っておりません。しかしながら、医療・介護ソリューションサービスにおけるデータ保管の基本アーキテクチャーとしてその技術を採用しております。eコマース事業に関しましては、外食を中心とした既存顧客の出店ペースの鈍化によって売上、利益ともに前期を下回る実績となっておりますが、今後の事業の拡大をにらみ外食以外の業界を対象とした新商材・新サービスの提供を開始いたしております。

以上の結果、当第3四半期までの売上高は1,658,680千円（前年同期比14.7%減）となり、売上総利益は115,758千円（前年同期比68.1%減）、経常利益△462,690千円（前年同期 235,275千円減）、四半期純利益△467,879千円（前年同期 332,056千円減）となりました。

ASP ソフトウェアライセンスの販売については売上計上時期ならびに方法を検討中であり、少なくとも今期終了までに結論を発表させていただく予定であります。

事業部門の売上高につきましては、ASP 事業は 822,927 千円、e コマース事業は 835,753 千円となりました。

(略)

(訂正後)

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計年度におけるわが国経済は金利上昇不安や原油価格・素材価格の高騰といった懸念材料はあったものの、企業部門の底堅さが持続し活発な設備投資や雇用・所得環境の改善による個人消費も上向きつつあるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし「改正建築基準法」施行の影響により住宅建設が減少していること等から、回復の足取りはさらに緩やかになりました。物価の動向をみると、消費者物価指数は、石油製品等の上昇により上昇すると見込まれました。こうした結果、内閣府の経済見通し（平成20年1月18日付け）によると平成19年度の国内総生産の実質成長率は1.3%程度（名目成長率は0.8%程度）になるとの見込みです。

一方、サブプライムローン問題を背景とする米国経済の下振れや金融資本市場の変動、原油価格の高騰等がわが国経済に与える影響は大なるものでありました。

このような状況下、当事業年度中間期までのマイナス基調から脱却すべく主力のソリューションアウトソーシング事業の新規顧客獲得、新事業分野である介護ソリューション事業の拡大、セキュリティ関連事業の基盤構築、既存のeコマース事業の新商材・新サービスの投入による売上拡大に努力してまいりました。その結果、第1四半期、第2四半期、第3四半期と売上は伸張してまいりましたが、その増加は微増にとどまり昨年度の実績に及びませんでした。

基幹事業のソリューションアウトソーシング事業においては、日本IBMとのタイアップのもと新世代POS「APOS」を発表するなど、新施策による顧客開拓に尽力して参りましたが、売上獲得は計画通りに進捗いたしませんでした。

新規事業分野である介護ソリューション事業は業界でも類を見ない新たなソリューションを提供しておりますが、販売体制の構築が遅れており当初予想の売上を達成するにいたりませんでした。しかしながら着実に業界の理解を獲得しており、その顧客数は急速に増加しております。

また、セキュリティ関連事業に関しましては、セグメント別ニーズの発掘活動を通じて当社セキュリティソリューションの有効活用につながる複数の案件が発生しておりますが、現時点では大きく売上に貢献する水準には至っておりません。しかしながら、医療・介護ソリューションサービスにおけるデータ保管の基本アーキテクチャーとしてその技術を採用しております。eコマース事業に関しましては、外食を中心とした既存顧客の出店ペースの鈍化によって売上、利益ともに前期を下回る実績となっておりますが、今後の事業の拡大をにらみ外食以外の業界を対象とした新商材・新サービスの提供を開始いたしております。

以上の結果、当第3四半期までの売上高は1,658,680千円（前年同期比23.4%減）となり、売上総利益は115,758千円（前年同期比80.2%減）、経常利益△462,690千円（前年同期 456.644千円減）、四半期純利益△467,879千円（前年同期 466.861千円減）となりました。

ASP ソフトウェアライセンスの販売については売上計上時期ならびに方法を検討中であり、少なくとも今期終了までに結論を発表させていただく予定であります。

事業部門の売上高につきましては、ASP 事業は 822,927 千円、e コマース事業は 835,753 千円となりました。

(略)

(訂正前)

5. (要約) 四半期財務諸表

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考) 前期
	(平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	(平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	金 額	増減率	(平成 19 年 3 月期) 金 額
I 売上高	<u>1,943,931</u>	1,658,680	<u>△285,250</u>	<u>△14.7</u>	<u>2,512,169</u>
II 売上原価	1,581,590	1,542,922	△38,668	△2.4	2,049,360
売上総利益	<u>362,341</u>	115,758	<u>△246,582</u>	<u>△68.1</u>	<u>462,808</u>
III 販売費及び一般管理費	580,442	572,922	△7,519	△1.3	778,917
営業損失	<u>218,100</u>	<u>457,164</u>	<u>239,063</u>	—	<u>316,109</u>
IV 営業外収益	139	1,599	1,460	1,045.1	1,049
V 営業外費用	9,454	7,126	△2,327	△24.6	12,796
経常損失	<u>227,415</u>	462,690	<u>235,275</u>	—	<u>327,856</u>
VI 特別利益	11,835	—	△11,835	—	4,229
VII 特別損失	867	2,629	1,761	203.0	2,044
税引前四半期(当期)純損失	<u>216,447</u>	<u>465,320</u>	<u>248,872</u>	—	<u>325,671</u>
税金費用	<u>△80,623</u>	2,559	<u>83,183</u>	—	<u>37,711</u>
四半期(当期)純損失	<u>135,823</u>	467,879	<u>332,056</u>	—	<u>363,383</u>



(訂正後)

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第3四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第3四半期	増 減		(参考) 前期 (平成19年3 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	2,165,300	1,658,680	△506,620	△23.4	2,733,538
II 売上原価	1,581,590	1,542,922	△38,668	△2.4	2,049,360
売上総利益	583,710	115,758	△467,952	△80.2	684,177
III 販売費及び一般管理費	580,442	572,922	△7,519	△1.3	778,917
営業利益(又は営業損失)	3,268	△457,164	△460,432	—	△94,740
IV 営業外収益	139	1,599	1,460	1,045.1	1,049
V 営業外費用	9,454	7,126	△2,327	△24.6	12,796
経常損失	6,046	462,690	456,644	—	106,487
VI 特別利益	11,835	—	△11,835	—	4,229
VII 特別損失	867	2,629	1,761	203.0	2,044
税引前四半期(当期)純利益(又は税引前四半期(当期)純損失)	4,921	△465,320	△470,241	—	△104,302
税金費用	5,940	2,559	△3,381	—	124,275
四半期(当期)純損失	1,018	467,879	466,861	—	228,578

(訂正前)

(3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

前第3四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位:千円)

項目	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
平成18年3月31日 残高	915,900	522,950	211,099	1,649,949	1,649,949
第3四半期会計期間中の変動額					
第3四半期純損失	—	—	△135,823	△135,823	△135,823
第3四半期会計期間中の変動額 合計	—	—	△135,823	△135,823	△135,823
平成18年12月31日 残高	915,900	522,950	75,276	1,514,126	1,514,126

当第3四半期(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

(単位:千円)

項目	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
平成19年3月31日 残高	915,900	522,950	△152,283	1,286,566	1,286,566
第3四半期会計期間中の変動額					
第3四半期純損失	—	—	△467,879	△467,879	△467,879
第3四半期会計期間中の変動額 合計	—	—	△467,879	△467,879	△467,879
平成19年12月31日 残高	915,900	522,950	△620,162	818,687	818,687

前期（自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日）（単位：千円）

項 目	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
平成 18 年 3 月 31 日 残高	915,900	522,950	<u>211,099</u>	<u>1,649,949</u>	<u>1,649,949</u>
事業年度中の変動額					
当期純損失	—	—	<u>△363,383</u>	<u>△363,383</u>	<u>△363,383</u>
事業年度中の変動額合計	—	—	<u>△363,383</u>	<u>△363,383</u>	<u>△363,383</u>
平成 19 年 3 月 31 日 残高	915,900	522,950	<u>△152,283</u>	<u>1,286,566</u>	<u>1,286,566</u>

（訂正後）

（3）（要約）四半期株主資本等変動計算書

前第 3 四半期（自平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日）（単位：千円）

項 目	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
平成 18 年 3 月 31 日 残高	915,900	522,950	<u>76,294</u>	<u>1,515,144</u>	<u>1,515,144</u>
第 3 四半期会計期間中の変動額					
第 3 四半期純損失	—	—	<u>△1,018</u>	<u>△1,018</u>	<u>△1,018</u>
第 3 四半期会計期間中の変動額 合計	—	—	<u>△1,018</u>	<u>△1,018</u>	<u>△1,018</u>
平成 18 年 12 月 31 日 残高	915,900	522,950	<u>75,276</u>	<u>1,514,126</u>	<u>1,514,126</u>

当第3四半期（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日） （単位：千円）

項 目	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
平成19年3月31日 残高	915,900	522,950	△152,283	1,286,566	1,286,566
第3四半期会計期間中の変動額					
第3四半期純損失	—	—	△467,879	△467,879	△467,879
第3四半期会計期間中の変動額 合計	—	—	△467,879	△467,879	△467,879
平成19年12月31日 残高	915,900	522,950	△620,162	818,687	818,687

前期（自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日） （単位：千円）

項 目	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金		
平成18年3月31日 残高	915,900	522,950	<u>76,294</u>	<u>1,515,144</u>	<u>1,515,144</u>
事業年度中の変動額					
当期純損失	—	—	<u>△228,578</u>	<u>△228,578</u>	<u>△228,578</u>
事業年度中の変動額合計	—	—	<u>△228,578</u>	<u>△228,578</u>	<u>△228,578</u>
平成19年3月31日 残高	915,900	522,950	△152,283	1,286,566	1,286,566

(訂正前)

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	前年同四半期	当四半期	(参考)
	(平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	(平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
<u>税引前四半期(当期)純損失(△)</u>	<u>△216,447</u>	△465,320	<u>△325,671</u>
減価償却費	120,581	144,771	165,615
新株発行費償却	2,722	1,720	3,641
社債発行費償却	2,299	—	3,066
リース解約損	784	2,629	1,960
固定資産除却損	83	—	83
貸倒引当金の増加額(△減少額)	△11,835	5,048	△14,969
賞与引当金の増加額(△減少額)	△15,733	△13,504	△534
退職給付引当金の増加額(△減少額)	△900	△433	△437
受取利息及び受取配当金	△82	△546	△475
支払利息	4,431	5,406	6,088
売上債権の減少額(△増加額)	<u>382,338</u>	△54,153	<u>420,550</u>
たな卸資産の減少額(△増加額)	△10,131	12	△10,066
前払費用の減少額(△増加額)	—	95,338	—
仕入債務の増加額(△減少額)	△135,996	53,000	△175,250
未払金の増加額(△減少額)	214,281	△6,826	156,611
前受金の増加額(△減少額)	—	152,869	—
その他の資産の減少額(△増加額)	<u>△103,767</u>	6,552	<u>13,327</u>
その他の負債の増加額(△減少額)	△30,282	4,819	△30,872
小 計	202,346	△68,614	212,669
利息及び配当金の受取額	82	546	475
利息の支払額	△5,169	△6,157	△6,091
リース解約による支出	△784	△2,629	△1,549
法人税等の支払額	△65,839	△1,742	△66,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	130,635	△78,596	138,730

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 平成19年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△19,123	△2,357	△19,358
ソフトウェアの取得による支出	△162,904	△94,681	△198,731
ソフトウェアの製作による支出	△38,850	△46,863	△50,280
貸付金の回収による収入	74	—	74
敷金・保証金の減少額 (△増加額)	397	78	573
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,406	△143,824	△267,722
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の借入による収入	—	100,000	—
短期借入金の返済による支出	—	△6,000	—
長期借入金の返済による支出	△40,458	△10,458	△53,944
未払金の返済による支出	△39,722	△89,682	△66,828
株式の発行による支出	△4,177	—	△4,177
上場関連の支出	△258	—	△258
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,616	△6,140	△125,208
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額</b>	△174,388	△228,562	△254,201
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	892,602	638,401	892,602
<b>VI 現金及び現金同等物の期末残高</b>	718,214	409,839	638,401

(訂正後)

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	前年同四半期	当四半期	(参考)
	(平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	(平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税引前四半期(当期)純利益(純損失△)	4,921	△465,320	△104,302
減価償却費	120,581	144,771	165,615
新株発行費償却	2,722	1,720	3,641
社債発行費償却	2,299	—	3,066
リース解約損	784	2,629	1,960
固定資産除却損	83	—	83
貸倒引当金の増加額(△減少額)	△11,835	5,048	△14,969
賞与引当金の増加額(△減少額)	△15,733	△13,504	△534
退職給付引当金の増加額(△減少額)	△900	△433	△437
受取利息及び受取配当金	△82	△546	△475
支払利息	4,431	5,406	6,088
売上債権の減少額(△増加額)	149,901	△54,153	188,113
たな卸資産の減少額(△増加額)	△10,131	12	△10,066
前払費用の減少額(△増加額)	—	95,338	—
仕入債務の増加額(△減少額)	△135,996	53,000	△175,250
未払金の増加額(△減少額)	214,281	△6,826	156,611
前受金の増加額(△減少額)	—	152,869	—
その他の資産の減少額(△増加額)	△92,698	6,552	24,395
その他の負債の増加額(△減少額)	△30,282	4,819	△30,872
小 計	202,346	△68,614	212,669
利息及び配当金の受取額	82	546	475
利息の支払額	△5,169	△6,157	△6,091
リース解約による支出	△784	△2,629	△1,549
法人税等の支払額	△65,839	△1,742	△66,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	130,635	△78,596	138,730

	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 平成19年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
有形固定資産の取得による支出	△19,123	△2,357	△19,358
ソフトウェアの取得による支出	△162,904	△94,681	△198,731
ソフトウェアの製作による支出	△38,850	△46,863	△50,280
貸付金の回収による収入	74	—	74
敷金・保証金の減少額 (△増加額)	397	78	573
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,406	△143,824	△267,722
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金の借入による収入	—	100,000	—
短期借入金の返済による支出	—	△6,000	—
長期借入金の返済による支出	△40,458	△10,458	△53,944
未払金の返済による支出	△39,722	△89,682	△66,828
株式の発行による支出	△4,177	—	△4,177
上場関連の支出	△258	—	△258
財務活動によるキャッシュ・フロー	△84,616	△6,140	△125,208
<b>IV 現金及び現金同等物の増加額</b>	△174,388	△228,562	△254,201
<b>V 現金及び現金同等物の期首残高</b>	892,602	638,401	892,602
<b>VI 現金及び現金同等物の期末残高</b>	718,214	409,839	638,401



(訂正前)

(5) セグメント情報

販売の状況

販売実績

(単位：千円)

区 分	前年同四半期 自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日		当四半期 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日		(参考) 平成 19 年 3 月期 自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
A S P 事業	<u>955,813</u>	<u>49.2</u>	822,927	49.6	<u>1,265,475</u>	<u>50.4</u>
e コマース事業	988,118	<u>50.8</u>	835,753	50.4	1,246,693	<u>49.6</u>
合 計	<u>1,943,931</u>	100.0	1,658,680	100.0	<u>2,512,169</u>	100.0

(注) 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

(訂正後)

(5) セグメント情報

販売の状況

販売実績

(単位：千円)

区 分	前年同四半期 自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日		当四半期 自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 12 月 31 日		(参考) 平成 19 年 3 月期 自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 3 月 31 日	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
A S P 事業	<u>1,177,182</u>	<u>54.4</u>	822,927	49.6	<u>1,486,844</u>	<u>54.4</u>
e コマース事業	988,118	<u>45.6</u>	835,753	50.4	1,246,693	<u>45.6</u>
合 計	<u>2,165,300</u>	100.0	1,658,680	100.0	<u>2,733,538</u>	100.0

(注) 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。